

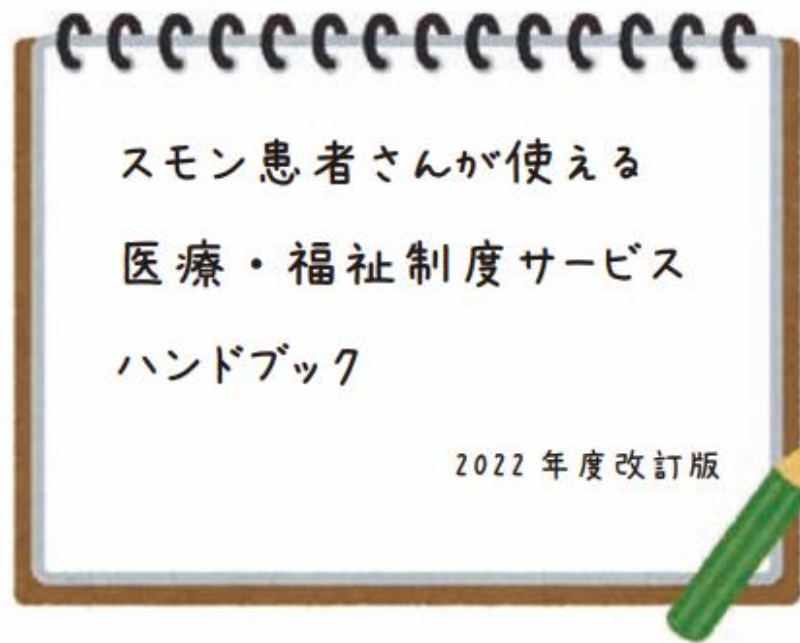
「スモン患者さんが利用できる制度・政策について」

令和7年1月12日（日）

スモン研究班介護福祉グループ

国立病院機構南岡山医療センター

地域医療連携室 MSW 川端宏輝



介護保険制度とは？

- 介護を必要とする人を社会全体で支えるために作られた制度
- 40歳になると加入が義務づけられ、介護保険料を支払うことになる
- 年齢によって第1号被保険者、第2号被保険者に分けられる。
- 被保険者が介護保険サービスを利用した時、利用料の一部が介護保険から支払われ、残りが「自己負担額」として請求される仕組み

対象者と条件

- 第1号被保険者

65歳以上の方は原因を問わず対象

- 第2号被保険者

40歳以上64歳までの医療保険加入者

共に「要支援」「要介護」どちらかの認定を受けることが条件！

第2号被保険者

- ① 末期がん
- ② 関節リウマチ
- ③ 筋萎縮性側索硬化症
- ④ 後縦靱帯骨化症
- ⑤ 骨折を伴う骨粗鬆症
- ⑥ 初老期における認知症
- ⑦ 進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病
- ⑧ 脊髄小脳変性症
- ⑨ 脊柱管狭窄症
- ⑩ 早老症
- ⑪ 多系統萎縮症
- ⑫ 糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症及び糖尿病性網膜症
- ⑬ 脳血管疾患
- ⑭ 閉塞性動脈硬化症
- ⑮ 慢性閉塞性肺疾患
- ⑯ 変形性関節症
(両側の膝関節又は股関節に著しい変形を伴う)

相談先

- **市町村の担当課（介護保険課、高齢福祉課など）**
- **地域包括支援センター**
- **居宅介護支援事業所**
- **医療機関のスタッフ（医師、看護師、MSWなど）**
- **社会福祉協議会、保健所、民生委員など**

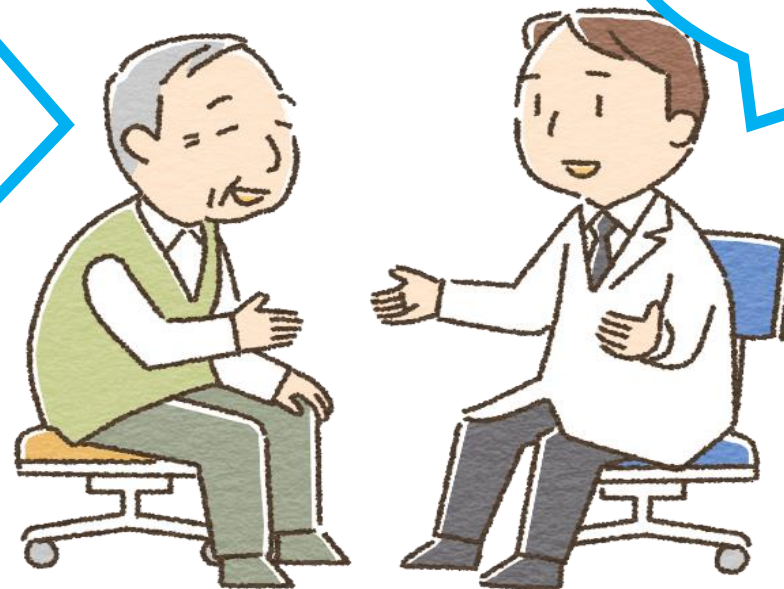
申請する前に確認すること

- 介護保険を申請して何を手伝ってほしいのか
何に困っているのかを整理する
- 主治医に意見書を書いてもらえるか相談する
- 主治医がいなければ、かかりつけ医を作る

ポイント

介護保険申請前、主治医に「主治医意見書」記載を相談

●●(理由)の為に
介護保険で○○(使いたいサービス)を利用したい。
介護保険を申請するので
「主治医意見書」を書いて欲しい。



いいですよ
作成しますね。

介護保険サービスの利用手順

①「介護保険」を申請



②医師意見書
と認定調査で
要介護認定



③「●●サービス」
利用希望と相談



④利用開始

【申請窓口】

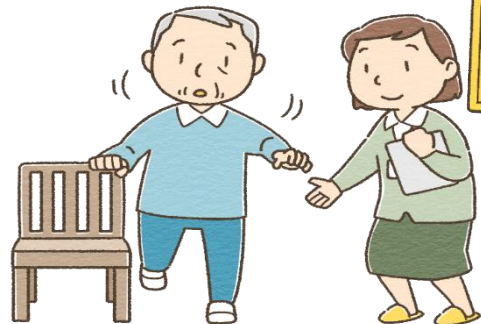
医師意見書作成

【相談窓口】

介護保険担当課

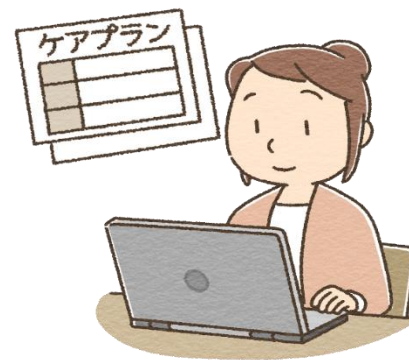


訪問調査



要支援 1、2
地域包括支援センター

要介護 1～5
居宅介護支援事業所



家庭で受け
るサービス

施設に通う
サービス

訪問・通い・宿
泊の組合せ

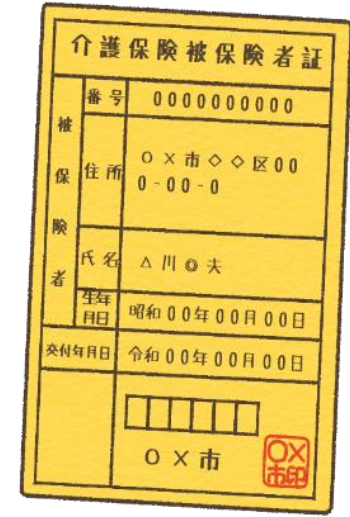
福祉用具

短期宿泊



申請

● 窓口は、市町村の担当課

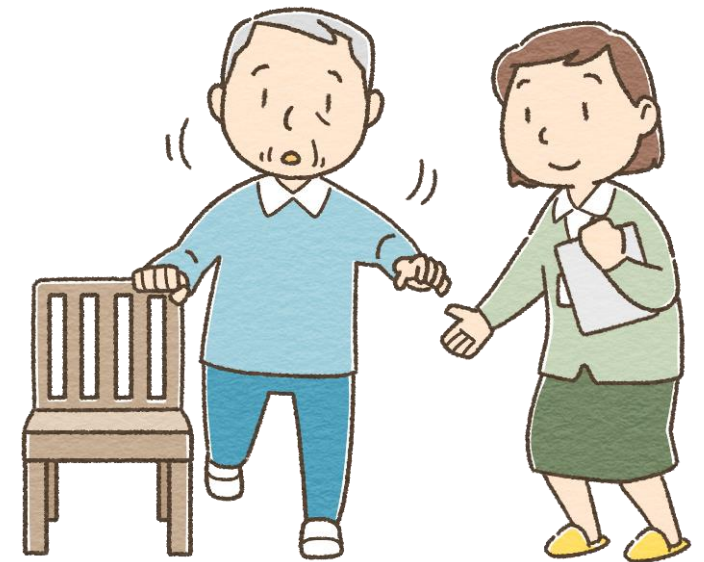


● 手続きは、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所が代行も可

● マイナンバー、医師の名前、医療機関名、所在地

訪問調査

- 調査員から訪問日時との連絡が入る
- 生活にどのような支障があるか、どのようなサポートが必要かを伝える



介護保険サービスの利用手順

①「介護保険」を申請



②医師意見書
と認定調査で
要介護認定



③「●●サービス」
利用希望と相談



④利用開始

【申請窓口】

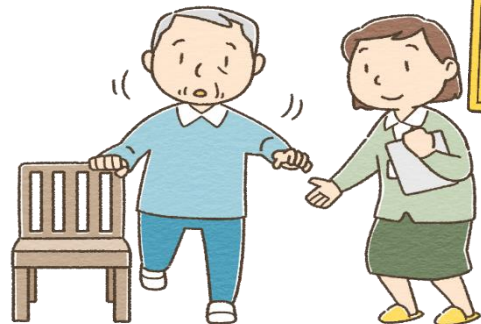
医師意見書作成

【相談窓口】

介護保険担当課

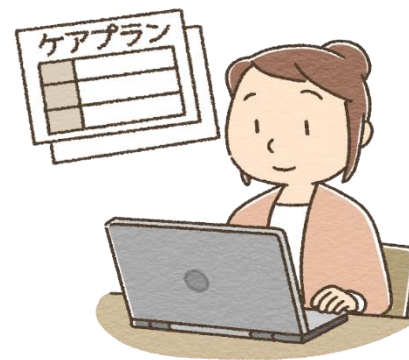


訪問調査



要支援 1、2
地域包括支援センター

要介護 1～5
居宅介護支援事業所



家庭で受け
るサービス

施設に通う
サービス

訪問・通い・宿
泊の組合せ

福祉用具

短期宿泊



認定通知

- 原則、申請から30日以内、結果通知書、介護保険被保険者証が届く
- 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所の一覧が入っている
- 認定の効力は、申請日にさかのぼる

ケアプランの作成

- ケアマネジャーの選定
(地域包括支援センター、居宅介護支援事業所)
- ケアプランの作成は、全額保険給付、費用負担なし

ケアマネージャーへの相談方法

【相談窓口】ケアマネージャー

〇〇（使いたいサービス）を利用したい。



調整しますね。



家庭で受けるサービス

施設に通うサービス

訪問・通い・宿泊の組合せ

福祉用具

短期宿泊

ケアマネージャー

利用開始

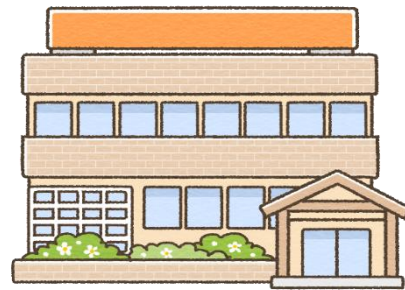
ポイント

介護サービスプランイメージ

曜日	月	火	水	木	金	土	日
午前	ショートステイ	ショートステイ					
午後				通所リハビリ			



福祉用具：レンタル



短期入所
(ショートステイ)



通所リハビリ

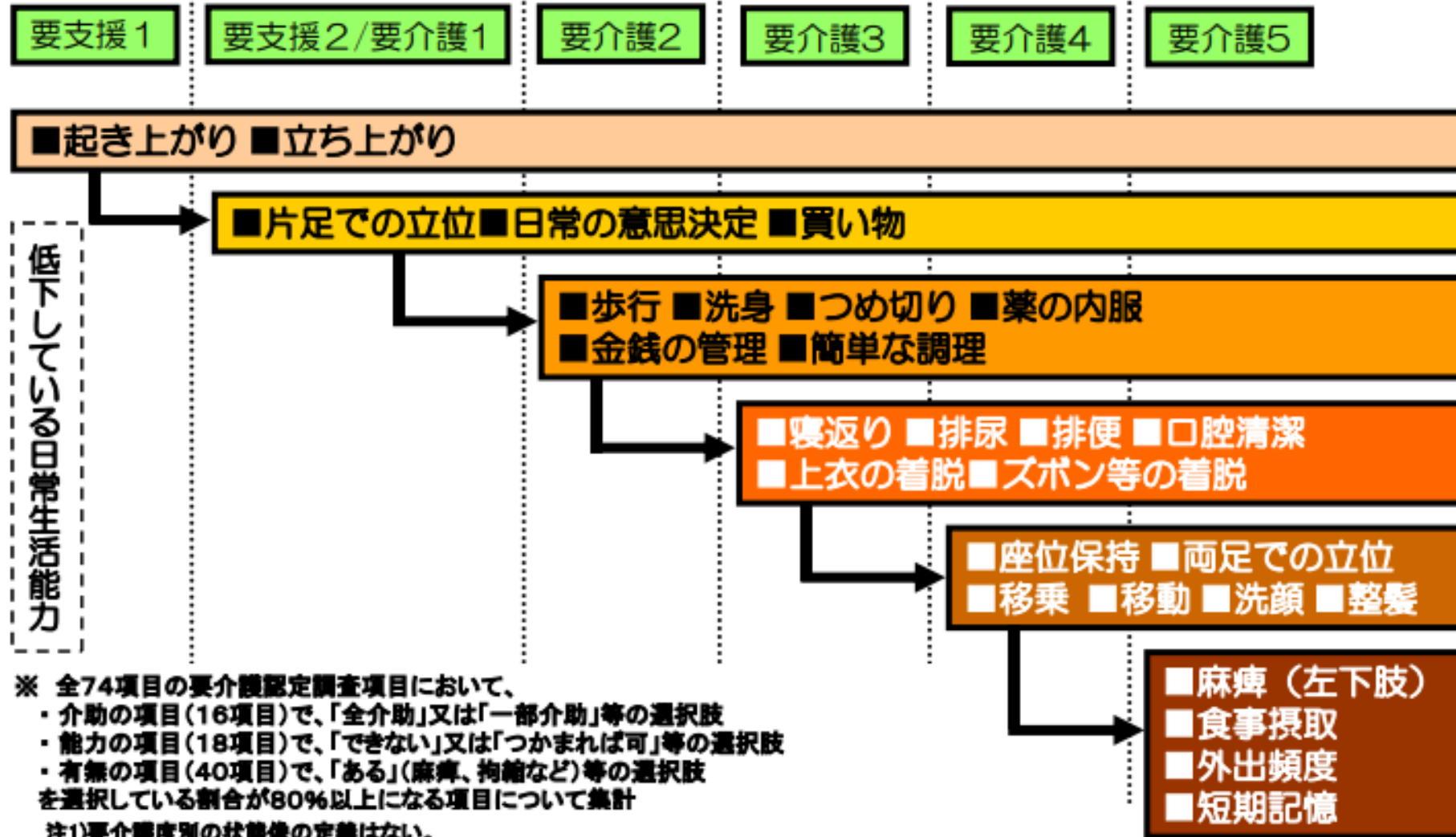
- ・福祉用具：
歩行器とベットの
レンタル
- ・月・火：
ショートステイ
- ・木：通所リハビリ
を利用したい。

自己負担額の一覧

区分	区分支給限度額 基準額 (1単位10円)	自己負担 1割	自己負担 2割	自己負担 3割
要支援1	5032	5,032円	10,064円	15,096円
要支援2	10531	10,531円	21,062円	31,593円
要介護1	16765	16,765円	33,530円	50,295円
要介護2	19705	19,705円	39,410円	59,115円
要介護3	27048	27,048円	54,096円	81,144円
要介護4	30938	30,938円	61,876円	92,814円
要介護5	36217	36,217円	72,434円	108,651円

要介護状態区分別の状態像

(80%以上の割合で何らかの低下が見られる日常生活能力(※))



※ 全74項目の要介護認定調査項目において、
 ・ 介助の項目(16項目)で、「全介助」又は「一部介助」等の選択肢
 ・ 能力の項目(18項目)で、「できない」又は「つかまれば可」等の選択肢
 ・ 有無の項目(40項目)で、「ある」(麻痺、拘縮など)等の選択肢
 を選択している割合が80%以上になる項目について集計

注1)要介護度別の状態像の定義はない。

注2)市町村から国(介護保険総合データベース)に送信されている平成28年度の要介護認定情報に基づき集計(平成28年2月15日時点)

注3)要介護状態区分は二次判定結果に基づき集計

注4)74の各調査項目の選択肢のうち何らかの低下(「全介助」、「一部介助」等)があるものについて集計

介護度のめやす

要支援1



掃除・身の回りのことに見守り手助けを要する
複雑な動作に何らかの支えを必要とすることがある
排泄や食事は1人でできる

要支援2



身だしなみ・掃除・身の回りのことに見守り手助けを要する
複雑な動作に何らかの支えを必要とする
移動の動作に何らかの支えを必要とする
排泄や食事は1人でできる

介護度のめやす

要介護1



身の回りの行動に何らかの見守り・手助けが必要
混乱や理解低下がみられる
排泄・食事は自分でできる

要介護2



立ち上がりや歩行などが自力でできない
場合が多く、排泄や入浴などにも一部
または全介助が必要

要介護3



立ち上がりや歩行が1人では困難、常に介助が必要な状態
また認知症の症状により、日常生活に影響がある状態

要介護4



日常生活全般にわたって、さらに動作能力が低下し、介護なしでは日常生活が困難

要介護5



寝たきりの状態で日常生活全般に介助が必要
意思疎通が困難な状態

介護保険サービス

家庭で受けるサービス

福祉用具

施設に通うサービス

短期入所

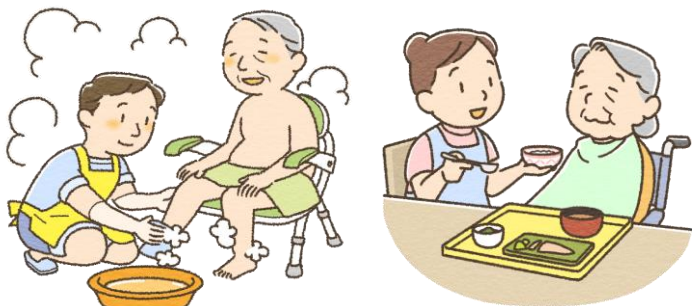
訪問・通い・宿泊の組合せ

施設入所

家庭で受けるサービス

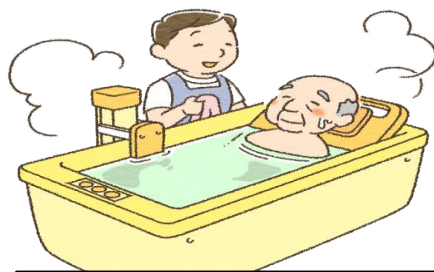


訪問介護



身体介護：食事介助や入浴支援等

訪問入浴



自宅に浴槽等を持ち込み入浴の支援を行う。

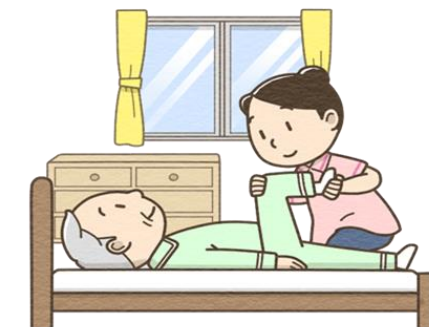
訪問看護

※注：スモンは医療保険が優先。
主病名がスモンの訪問看護指示書などが必要。
県と契約した指定医療機関の場合、スモン特定疾患医療受給者証を提示で自己負担の全額が公費負担となる。

訪問リハビリ



配薬支援

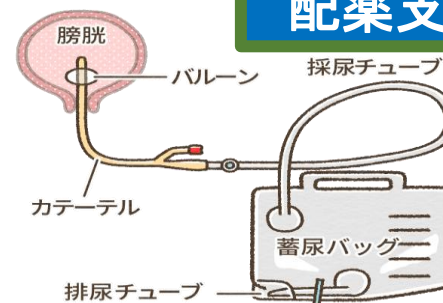


訪問リハビリ

夜間対応型 訪問介護

定期巡回・ 随時対応訪 問介護看護

注：地域によって利用困難



バルン管理

注射、点滴、バルン、等の医療処置を行う。

・※訪問看護事業所にリハビリ専門家が所属する場合、訪問看護でも利用可能。



生活介護：炊事・洗濯・掃除等

注：要介護・要支援でない家族が同居だと生活介護が受けられない場合有。

施設に通うサービス

通所介護

通所リハビリ

認知症対応型デイサービス

療養通所サービス

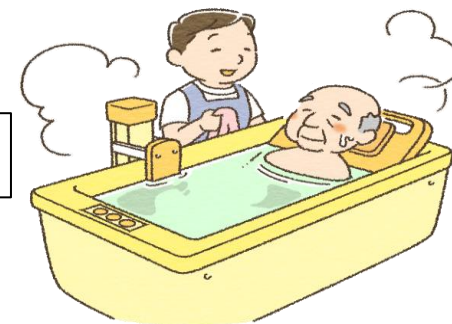
送迎



食事支援



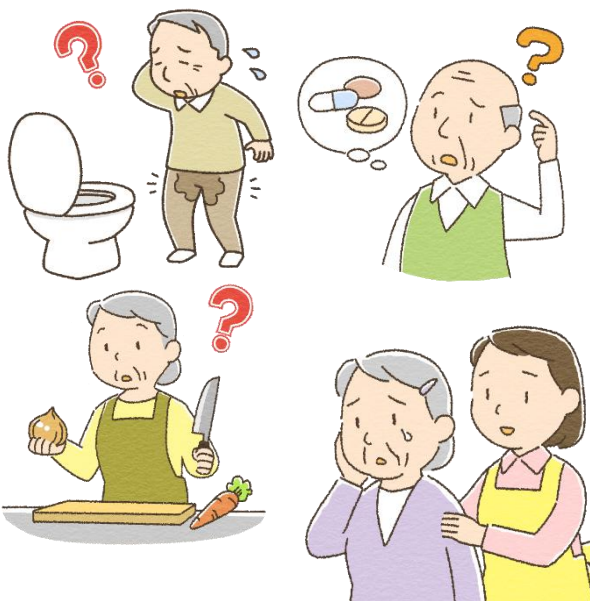
入浴支援



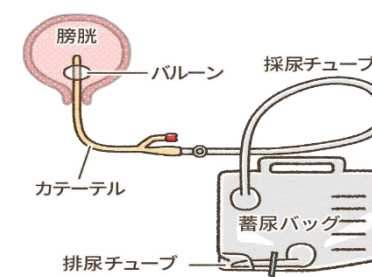
レクリエーション



リハビリ



認知症に特化したケア



バルン管理



自己注射

看護に特化したケア

訪問・通い・宿泊の組合せ2種類

①小規模多機能型居宅介護

ケアプラン



訪問介護

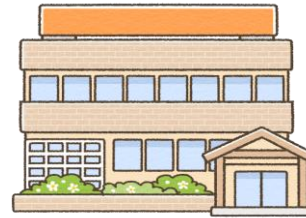


デイサービス

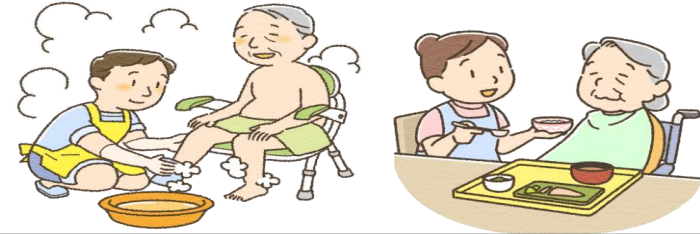
送迎



短期宿泊



身体介護：食事介助や入浴支援等



食事支援

注：要介護・要支援でない家族が同居だと生活介護が受けられない場合有。

生活介護：炊事・洗濯・掃除等



宿泊支援

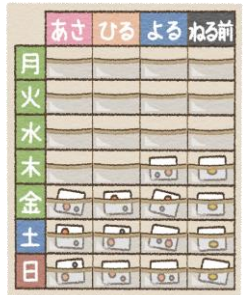


入浴支援

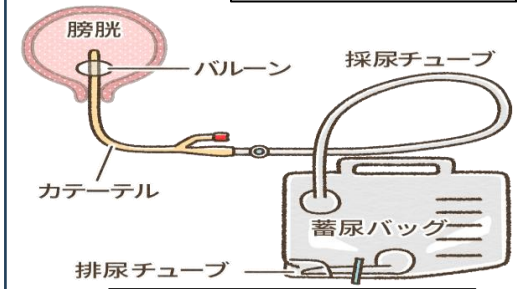
②看護小規模多機能型居宅介護



訪問看護



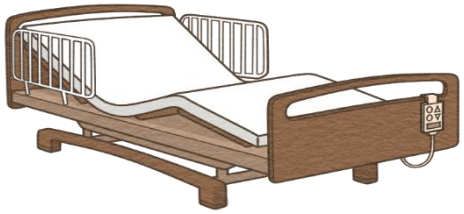
配薬支援



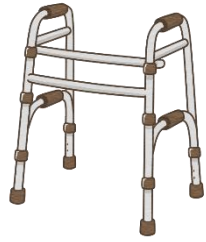
バルン管理

福祉用具関連サービス

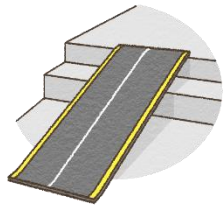
レンタル



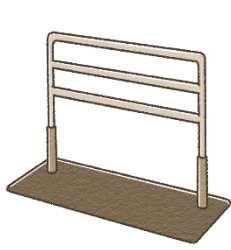
特殊寝台(電動ベット)



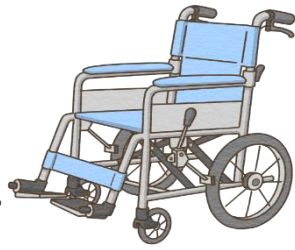
歩行器



スロープ



据え置き手すり



車いす

ケアマネージャー経由でレンタルすると費用の1割～3割で福祉用具をレンタルできる。

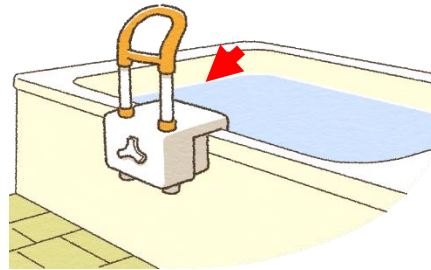
販売



ポータブルトイレ



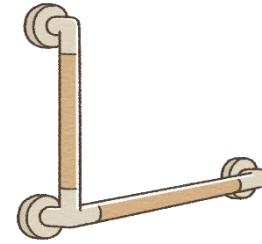
シャワーチェア



浴槽の手すり

排せつ、入浴に使用する用具をケアマネージャー経由で購入すると、同年度(4/1-翌年3/31)10万を上限に購入費用のうち利用負担割合分(1～3割)を除いた金額が支給される。

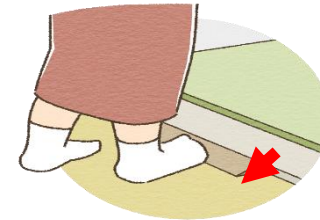
住宅改修



①手すりの設置



③洋式便器に取替



②段差の解消

④滑り止め防止等の床材料の変更

⑤引き戸などへの扉の取替

①～⑤の改修に対し、ケアマネージャーを経由して行う場合、20万限度の補助枠内について1～3割の自己負担で利用できる。(20万を超える部分は自費負担。)

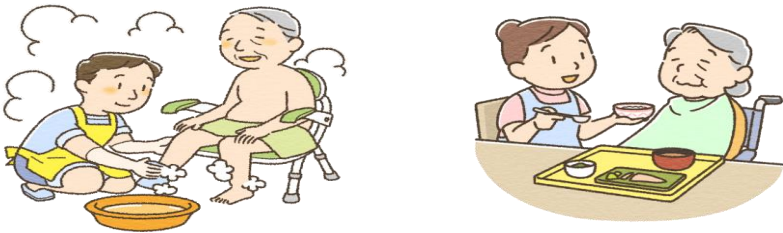
短期入所

短期入所生活介護

【場所】



特別養護老人ホーム・老人短期入所施設等



入浴や食事の生活支援を受けて短期間入所

利用者の心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るもの。

短期入所療養介護

【場所】



介護医療院(病院・診療所)・老人保健施設



医療が必要な方が生活支援を受けて短期入所

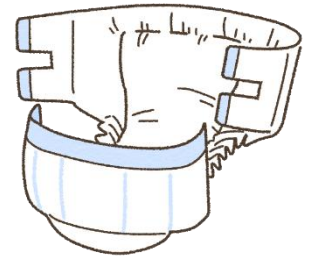
看護、医学的管理の下における介護、機能訓練その他必要な医療、日常生活上の世話を行う。利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るもの。

その他のサービス

- 各市町村が提供するサービス
介護衛生用品の支給、緊急通報装置、配食サービスなど

- ボランティア

- 介護保険外の自費サービス



早島町社会福祉協議会の活動例

町域における助け合い

住民参加の「生活支援サービス」のイメージ

●生活支援サービスの内容（例）

- ◇話し相手
- ◇住宅の軽微な修繕
- ◇移動の援助や付き添い
- ◇簡単な掃除
- ◇ゴミ出し
- ◇買い物
- ◇家具や荷物の移動

●生活支援サービスの担い手（例）

- 一般町民（有償ボランティア）
- シルバー人材センター会員
- その他の各種団体会員

サービスの提供依頼



- 生活支援の相談受付・調整・担い手の養成・サービス立案（早島町社会福祉協議会）

地区住民やボランティアによる助け合い

サービス提供（有償）



本人・家族

困りごと

●困りごとの発見

- 民生委員
- 福祉活動員
- ご近所
- ケアマネジャー（介護支援専門員）
- ホームヘルパー（訪問介護員）
- ケースワーカー（高齢・児童・障がい福祉分野の相談職）

見守り・支援

生活支援の相談やサービス申込

公的なサービスの相談・申込

●専門相談機関

- 地域包括支援センター
- 高齢・児童・障がい福祉分野の相談機関

公的な医療・介護・福祉サービス

介護度によって受けられるサービスが変わる

- 要介護度によって使えるサービス量は決められている
- 介護度によっては使えないサービスもある
- 施設入所は原則要介護以上

介護度によっては使えないサービス

●レンタル可能な福祉用具

【要支援1・2および要介護1】

- ・取付工事を伴わない手すり ・設置工事を伴わないスロープ ・歩行器 ・歩行補助杖

【要介護2以上】

- ・車いす ・車いす附属品（電動補助装置、クッション、テーブルなど） ・特殊寝台（介護ベッド）
- ・特殊寝台附属品（サイドレール、マットレス、ベッド用手すりなど）
- ・床ずれ防止用具（エアマット、ウォータースライダーマットなど） ・体位変換器
- ・認知症老人徘徊感知機器 ・住宅改修を伴わない移動用リフト

【要介護度4以上】

- ・自動排泄処理装置（尿や便を自動吸引する装置）

※尿のみを吸引するものは要介護2以上でも可要介護度によって使えるサービス量は決められている

施設入所は原則要介護以上

- **特別養護老人ホーム：要介護3以上**
- **介護老人保健施設：要介護1以上**
- **有料老人ホーム**
 - 住宅型：非該当でも受け入れ可能なところも
 - 介護型：要介護1以上
- **サービス付き高齢者住宅・ケアハウス**
 - 身の回りのことができることが条件
- **グループホーム：要支援2以上**
 - 認知症の診断が必要

ご清聴
ありがとうございました

